

## ブラジルでスマートコミュニティ構築事業及びZEB構想を紹介

—スマートシティビジネスアメリカで日系ゼネコンとして唯一の講演及び出展—

戸田建設(株) (以下、当社) のグループ会社であるブラジル戸田建設(株) (社長: 奥地正敏) は、5月19日(火) から5月21日(木) にかけて、ブラジル連邦共和国パラナ州クリチバ市で開催された「スマートシティ<sup>※1</sup> ビジネスアメリカ」において、当社が取り組んでいるスマートコミュニティ構築事業、ZEB<sup>※2</sup> 構想、(株)村田製作所との異業種コラボレーションによる技術開発事例などを紹介しました。

「スマートシティビジネスアメリカ」は、主にブラジル国内の実業家、政治家、コンサルタント、建築家、都市計画家、建設会社や投資家に対し、より良い都市の姿を目指すための新たな機会の場を提供するイベントです。ここでは講演や展示物を通して、スマートシティ分野における新しい技術、最新の傾向を紹介し、参加者間の交流を促しています。

過去2回は、ブラジル国内の関係者を招いて開催されていますが、3回目にあたる今回は、より国際化を進めるため、5大陸の専門機関、大学、研究所、企業や投資家が招かれました。日系企業としては、メーカー2社と、ゼネコンとして唯一ブラジル戸田建設(株)が招かれました。

5月21日(木) に行ったブラジル戸田建設(株)の講演では、当社価値創造推進室主管 森一紘が、福島県での復興事業となるスマートコミュニティ構築事業やZEB構想、異業種コラボレーションとして重要なパートナーである(株)村田製作所との技術開発の取り組み事例などを紹介しました。ブラジル国内だけでなく、様々な国から300名を超える方々が来場されました。

また、ブラジル戸田建設(株)は、展示ブースへの出展も行いました。ブラジル国内でのスマートシティ計画、(株)村田製作所との開発技術【エネルギーハーベスティング技術<sup>※3</sup>を活用した自己発電型照明スイッチ、ワイヤレス給電<sup>※4</sup>システム、スマートホスピタルライティングシステム<sup>※5</sup>等】を展示し、3日間で約500名が当ブースを訪れました。

### 【スマートシティビジネスアメリカの概要】

1. 開催名: SMART CITY BUSINESS AMERICA CONGRESS & EXPO EM CURITIBA  
(スマートシティ ビジネス アメリカ)
2. 日 程: 2015年5月19日(火) ~21日(木)
3. 場 所: Expo Unimed Curitiba (ブラジル連邦共和国パラナ州クリチバ市)
4. 主 催: Instituto Smart City Business (スマートシティビジネス運営機関)
5. 参加国: ブラジル、イタリア、ドイツ、中国、メキシコ、日本など 計9カ国



写真1 講演を行う当社価値創造推進室 森



写真2 講演会場の様子



写真3 パネルディスカッションの様子



写真4 展覧会のブースの様子

- ※1 スマートシティ：スマートグリッドやエネルギーマネジメントシステムによる消費エネルギーの最適化を行い、交通や公共サービスなどを統合的に管理・制御する環境配慮都市のこと。スマートコミュニティと同義語。
- ※2 ZEB：ゼロ・エネルギー・ビル。年間での一次エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロ又は概ねゼロとなる建築物。
- ※3 エネルギーハーベスティング技術：振動、熱、光など、身の回りにある普段失われている僅かなエネルギーを回収し、電気や熱に変換する技術。
- ※4 ワイヤレス給電：電気を送電ケーブル無し（ワイヤレス）で、照明器具や装置等に給電する技術。
- ※5 スマートホスピタルライティングシステム：サーカディアンリズム（概日リズムを指し生物の約 24 時間周期で変動する生理現象）と無線通信技術を融合した、戸田建設㈱、㈱村田製作所等が開発した病院向けのLED照明システム。